

教育委員会事務の点検及び評価報告書

—平成23年度分—



平成24年9月  
つがる市教育委員会

## 報告書目次

教育委員会基本方針	1
教育委員会委員構成	1
つがる市教育委員会機構図	2
平成23年度つがる市教育委員会審議状況	3
平成23年度教育委員会議以外の活動報告	6
教育委員会事務の点検及び評価について	7
予算・決算の概要	8
施策分野別の総合点検・評価（各課の点検・評価書）	
1. 教育委員会組織	8
2. 学校教育指導関係	
教育総務課	8
指 導 課	9
3. 社会教育行政関係	
生涯学習課	11
4. 文化財保護行政関係	
文 化 課	12
施策別重点項目事務事業一覧	14
平成23年度教育委員会事務事業点検・評価表	16

## 教育委員会基本方針

つがる市教育委員会では、新市施策の基本目標の一つである「個性と郷土を大切に  
する心豊かな人づくり」の具現化を目指し、青森県教育委員会の教育目標やつがる市  
の生涯学習推進計画などの趣旨を踏まえ、すべての市民が生涯を通じて様々な学習活  
動に参加できる、生涯学習社会の実現に向けて、教育目標を設定しています。

さらに、教育目標を達成するための3項目の具体的方針を定め、当面の教育課題や  
今後の方向を明らかにします。

1 生きる力と夢をはぐくむ教育の推進

2 生涯学習とスポーツの振興

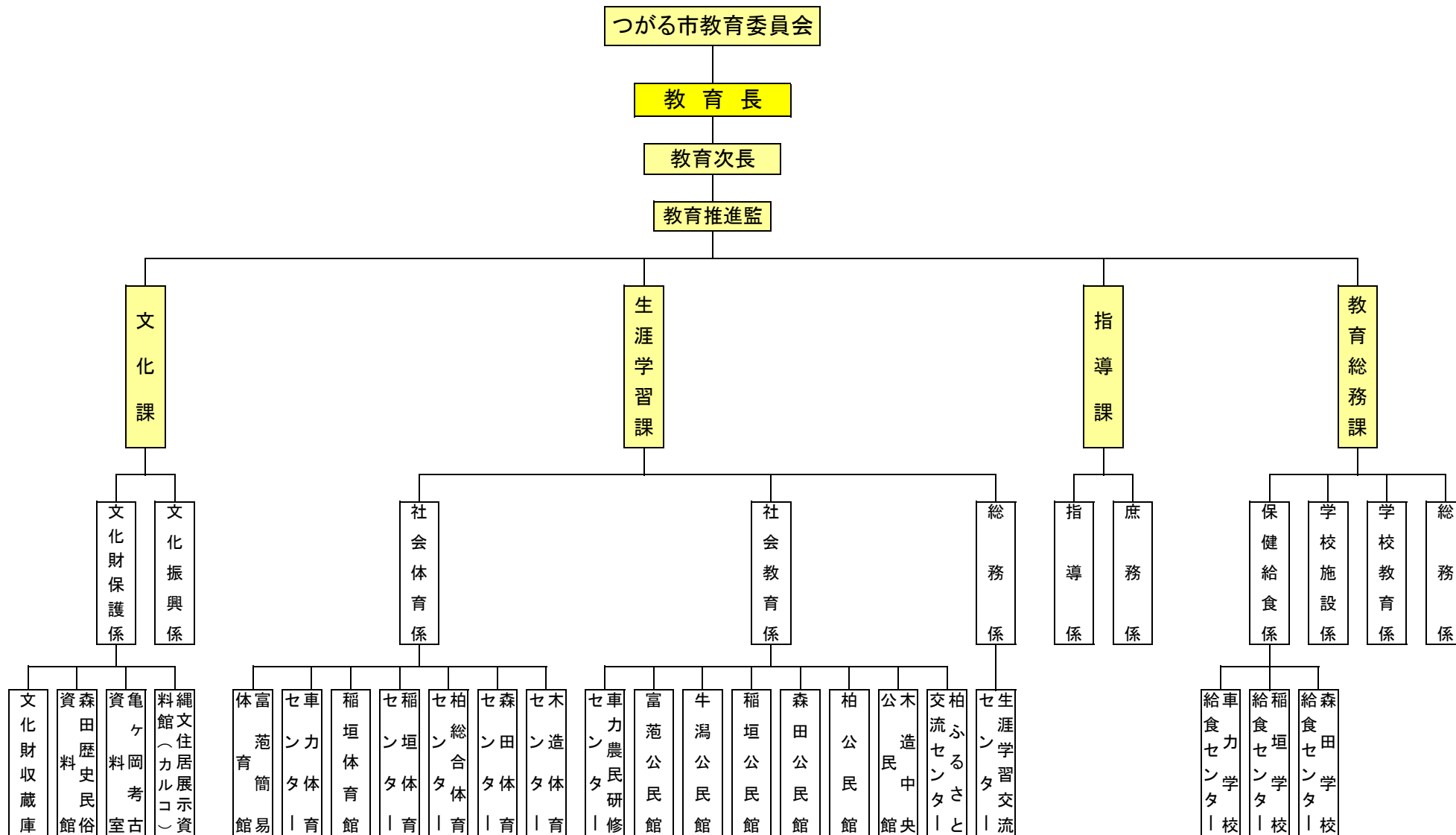
3 文化の薫り高いまちづくり

## 教育委員会委員構成

(平成23年4月現在)

区 分	氏 名	任 期
委 員 長	長谷川 良 幸	平成21年3月31日 ～ 平成25年3月30日
委 員 (職務代理者)	成 田 悦 雄	平成20年3月31日 ～ 平成24年3月30日
委 員	黒 滝 亨	平成23年3月31日 ～ 平成27年3月30日
委 員	神 元 勝	平成22年3月31日 ～ 平成26年3月30日
委 員	鳳 至 英 俊	平成23年3月31日 ～ 平成27年3月30日
教 育 長	葛 西 嶮 輔	平成21年3月31日 ～ 平成25年3月30日

# つがる市教育委員会機構図



## 平成23年度つがる市教育委員会審議状況

会 議	開催日時	開催場所	付 議 事 項		
4月定例会	4月25日(月) 13:30～	松の館 研修室	報 告	教育長報告	各種会議・行事等の概要
				生涯学習課	平成23年度社会教育計画(概要)
5月定例会	5月23日(月) 13:30～	松の館 研修室	報 告	教育長報告	各種会議・行事等の概要
				議案第21号	つがる市立学校給食運営審議会委員の委嘱について
6月定例会	6月24日(金)	松の館 研修室	報 告	教育長報告	各種会議・行事等の概要
				議案第22号	つがる市社会教育委員の委嘱について
				そ の 他	事務点検及び評価アドバイザーについて
7月定例会	7月26日(火) 13:30～	松の館 研修室	報 告	教育長報告	各種会議・行事等の概要
				教育総務課	県費負担教職員の処分について
				指 導 課	いじめにかかわる児童生徒へのアンケート調査結果
			議案第23号	つがる市教育委員会事務委任規則の一部を改正する規則案	
			議案第24号	西北地区市町毎の平成24年度使用中学校教科用図書採択の承認について	
			議案第25号	つがる市柏総合体育センター、つがる市木造河川敷運動場及びつがる市柏河川敷運動場の指定管理者制度導入について	
			協 議	平成22年度教育委員会の事務の点検及び評価報告書について 平成23年度教育委員学校訪問実施要項(案)について	
8月定例会	8月23日(火) 13:30～	松の館 研修室	報 告	教育長報告	各種会議・行事等の概要
				教育次長報告	平成23年度9月補正予算概要 放射性物質に関する学校給食の概要
				議案第26号	つがる市就学指導委員会規則の一部を改正する規則案
			議案第27号	平成22年度教育委員会事務の点検及び評価報告書について	
9月定例会	9月22日(木) 13:30～	松の館 研修室	報 告	教育長報告	各種会議・行事等の概要
				議案第28号	つがる市柏総合体育センター、つがる市木造河川敷運動場及びつがる市柏河川敷運動場の指定管理者候補団体の選定について
10月定例会	10月28日(金) 13:30～	松の館 視聴覚室	報 告	教育長報告	各種会議・行事等の概要
				各 課 報 告	平成23年度前期事業報告

会 議	開催日時	開催場所	付 議 事 項		
10月定例会	10月28日(金) 13:30~	松の館 視聴覚室	報 告	教育総務課	県費負担教職員の懲戒について
			議案第29号	つがる市木造野外活動施設屏風山の家条例を廃止する条例	
			議案第30号	つがる市運動施設条例の一部を改正する条例	
			議案第31号	つがる市木造野外活動施設屏風山の家管理運営規則を廃止する規則	
			議案第32号	つがる市文化財審議会委員の委嘱について	
11月定例会	11月25日(金) 13:30~	松の館 研修室	報 告	教育長報告	各種会議・行事等の概要
			議案第33号	つがる市スポーツ振興審議会に関する条例及びつがる市特別職の職員で非常勤のもの の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案	
			議案第34号	つがる市教育委員会事務局規則等の一部を改正する規則案	
			議案第35号	つがる市運動施設条例施行規則の一部を改正する規則案	
			議案第36号	つがる市スポーツ賞に関する規則の運用要綱の一部を改正する訓令案	
			議案第37号	つがる市木造中央公民館の指定管理者制度導入について	
			議案第38号	つがる市木造体育センターの指定管理者制度導入について	
			議案第39号	つがる市文化賞選考審議会委員の委嘱について	
12月定例会	12月22日(木) 13:30~	松の館 研修室	報 告	教育長報告	各種会議・行事等の概要
				各課報告	平成24年度予算要求の概要
			議案第40号	つがる市向陽小学校の学校給食費について	
			議案第41号	つがる市遺跡整備計画策定委員会設置要綱の制定について	
1月定例会	1月30日(月) 13:30~	松の館 研修室	報 告	教育長報告	各種会議・行事等の概要
			議案第1号	平成23年度つがる市文化賞受賞者の決定について	
			議案第2号	平成23年度つがる市スポーツ賞受賞者の決定について	
			議案第3号	つがる市遺跡整備計画策定員の委嘱について	
			議案第4号	つがる市木造中央公民館の指定管理者候補団体の選定について	
			議案第5号	つがる市木造体育センターの指定管理者候補団体の選定について	
			議案第6号	平成24年度学校教育指導の方針と重点の承認について	
議案第7号	県費負担教職員の住居手当及び通勤手当の支給に関する事務権限の移譲について				

会 議	開催日時	開催場所	付 議 事 項		
1月定例会	1月30日(月) 13:30~	松の館 研修室	協 議	平成24年度つがる市教育委員会の教育方針について	
				教育委員会学校訪問について(総括)	
2月定例会	2月23日(木) 13:30~	松の館 研修室	報 告	教育長報告	各種会議・行事等の概要
				各課報告	3月期補正予算の概要について
				指導課	平成23年度学校評価のまとめ(確かな学力) 平成24年度つがる市教育委員会指導課の方針と重点等について
			議案第8号	つがる市文化財保護条例案	
			議案第9号	つがる市文化財保護条例施行規則案	
			議案第10号	つがる市文化財審議会会議運営規則案	
			議案第11号	つがる市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規則案	
			議案第12号	つがる市立学校の備品管理に関する取扱要領案	
			議案第13号	平成24年度つがる市立小・中学校教職員の人事について(非公開)	
			議案第14号	つがる市教育相談員及び特別支援教育相談員の委嘱について	
			議案第15号	つがる市小学校外国語活動講師の委嘱について	
			協 議	つがる市小・中学校規模適正化基本方針について	
つがる市の教育(平成24年度版)について					
3月定例会	3月26日(月) 13:30~	松の館 研修室	報 告	教育長報告	各種会議・行事等の概要
				各課報告	平成23年度事業総括
			議案第16号	つがる市学校その他の教育機関の長に対する事務委任規程の一部を改正する訓令案	
			議案第17号	つがる市立小学校及び中学校の職員の服務等に関する規程の一部を改正する訓令案	
			議案第18号	つがる市の教育(平成24年度)について	
			議案第19号	つがる市小・中学校規模適正化について	
			議案第20号	つがる市学校教育活動支援員の任用について	
協 議	車力地区3小学校統合について				

## 平成23年度教育委員会議以外の活動報告

### (1) 学校訪問

小学校11校、中学校5校、公立幼稚園1園の学校訪問を実施しました。

訪問日	訪問校
9月28日(水)	柏小学校、育成小学校
9月30日(金)	森田小学校、森田中学校
10月3日(月)	車力小学校、穂波小学校
10月5日(水)	柏中学校、車力中学校
10月11日(火)	向陽小学校
10月24日(月)	稲垣中学校、車力幼稚園
10月31日(月)	富菴小学校
11月7日(月)	稲垣小学校、稲垣西小学校
11月8日(火)	瑞穂小学校、木造中学校
11月14日(月)	牛潟小学校

### (2) 会議、研修会

教育委員を対象とした下記の会議及び研修会に参加しました。

開催日	会議・研修名	出張先	出席者
4月26日(火)	西つがる教育委員会連絡協議会総会	つがる市	5人
5月24日(火)	市町村教育委員会委員研修会	青森市	5人
8月2日(火)	つがる市教育研究会	つがる市	4人
8月9日(火)	つがる市教育委員会委員研修会	つがる市	6人
11月1日(火)	西つがる教育委員会連絡協議会研修会	鱈ヶ沢町	5人

### (3) 各種行事・大会等

その他、下記の各種行事・大会に参加しました。

開催月	行事・大会名	開催月	行事・大会名
4月	4日：つがる市教職員合同着任式	2月	4日：阿部育也氏受賞式典
6月	28日：木造中、車力中合同落成式典		10日：西つがるの教育を語る会
8月	15日：つがる市成人式		11日：縄文フォーラム2012
10月	29日：つがる市総合文化祭		19日：つがる市文化賞・スポーツ賞授与式
11月	1日：つがる市表彰式	3月	1日：木造高校卒業式
	10日：西北五合同学校保健研究大会		8日～：市内小・中学校卒業式



## 教育委員会事務の点検及び評価について

### 1) 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条の規定に基づき、教育委員会は毎年、その権限に属する主要な施策や事務事業の取組み状況について、効果・必要性・効率性等を自ら点検評価を行い、今後の取組の方向性や課題を明らかにすることにより、効果的な教育行政の推進を図っていきます。

また、結果に関する報告書を作成し、市議会へ提出するとともに市民にも公表することにより、説明責任を果たし信頼される教育行政を推進することを目的としています。

### 2) 点検・評価の対象

点検・評価の実施にあたっては、平成23年度における教育委員会の活動や運営状況及び重点事業並びに主な事務事業を対象として実施しました。

- ・ 施策分野 …… 4分野（教育委員会、学校教育、社会教育、文化財保護）
- ・ 重点項目 …… 17項目
- ・ 主要事務事業 …… 73項目（各担当課が扱う主要な事業を選定し点検評価）

### 3) 点検・評価の構成

施策別重点項目一覧に基づく主要事務事業について、各担当者が一次評価を実施し担当課長が総合的な評価を行い教育長に提出する。

教育長は、「事務の点検・評価アドバイザー」を委嘱し、点検・評価の実施方法及び内容等について意見を求めるとともに、点検・評価の結果に関する報告書（案）を作成し、教育委員会で審議し議決を求める。

《平成23年度教育委員会事務事業点検・評価表シート》

- 有効性 …… 事業の成果を、「未達成」、「期待以下」、「ほぼ達成」、「期待どおり」、「期待以上」の5区分で捉え評価する。
- 必要性 …… 事業の必要性がどの程度あるか、「低い」、「やや低い」、「普通」、「やや高い」、「高い」の5区分で評価する。
- 方向性 …… 事業の今後の見通しを、「廃止・休止」、「縮小」、「整理統合」、「継続」、「拡大」の5区分により判断する。

### 4) 点検・評価の経緯

ア) 平成24年6月教育委員会

平成23年度事務点検及び評価についてのスケジュール案を報告承認

イ) 「事務の点検・評価アドバイザー」として3名を委嘱（7/1付）

（三浦 則孝氏、黒滝 清昭氏、福士 有一氏）

ウ) アドバイザー会議開催（7/20、8/10）

点検項目、評価表、報告書（案）等について意見聴取

エ) 平成24年7月、8月教育委員会

事務の点検及び評価報告書（案）について協議、審議のうえ議決

## 予算・決算の概要

平成23年度における教育費の当初予算は、25億4,278万8千円でしたが補正等で6億3,162万4千円を増額し、合計31億7,441万2千円となりました。これは前年度に比べると1.5%の減となっています。

一般会計歳出予算のうち、教育費の占める割合は12.5%と6年連続で10%を超える割合となっています。

主な要因としては、学校建設事業として車力中学校外構工事や向陽小学校改築事業、車力小学校、富蒔小学校、柏中学校体育館の耐震補強事業が挙げられるほか、国の地域活性化交付金等を活用した、学校の施設改修やパソコン等情報教育設備、学校図書備品の充実に努めた予算となっております。

歳出決算額は30億6,777万円強で、予算に対する執行率は96.6%となっています。

ただし、6,903万5千円強が翌年度へ繰越しされ、平成24年度において執行される結果となりました。

## 施策分野別の総合点検・評価（各課の点検・評価書）

### 1. 教育委員会組織

教育委員会の会議は、定例会12回を開催し、上程議案41件、報告23件、その他1件について審議し、いずれも可決・承認されました。

（資料 … 平成23年度つがる市教育委員会審議状況）

会議以外の活動状況は、管内小学校・中学校及び車力幼稚園へ訪問し、教育方針と重点項目がどのように浸透し、取り組んでいるかを確認しました。

また、教育関係の諸会議や研修会に出席し研鑽したほか、各種行事・大会にも積極的に参加しました。（資料 … 平成23年度教育委員会会議以外の活動報告）

今後、地方分権がますます進む中、地方教育行政を担う教育委員会の責任と役割は重要性が非常に高いと考えられ、地域の意向を反映した取組みが期待されます。

### 2. 学校教育指導関係

#### 教育総務課

#### ア. 施策分野別の総合点検・評価

22項目の事務事業について点検・評価を行ったところ、有効性・必要性とも概ね高い評価となっています。

学校建設事業では、向陽小学校校舎及び体育館が完成し、安全安心な環境で学校生活を送られているほか、向陽小学校の外構工事にも着手しました。

また、安全な教育環境を維持していくために、小学校、中学校の学校運動施設の耐震診断により必要な耐震補強工事を実施したほか、老朽化した車力地区小学校統合についてPTAとの意見交換を実施しました。

今後も学校施設の修繕工事は、計画的に整備し安全確保を図ることにしています。

学校設備整備事業では、国の交付金を活用しながら、コンピュータ等情報教育機器や環境の整備、図書及び教育等備品の充実を図っています。

学校支援事業では、小・中学校に配置しているスクールサポーター（学校教育活動支援員）を13名に増員し、通常学級等に在籍する発達障害のある児童・生徒の支援に努めたほか、就学援助事業、幼稚園就園奨励事業、遠距離通学補助、奨学金貸付事業など、保護者の負担を軽減するための施策を継続して実施したところです。

#### 【有効性】

学校建設事業については、車力中学校外構工事、向陽小学校校舎、体育館も完成し、小学校、中学校体育館の耐震補強工事も終了して安全な環境づくりに成果を挙げています。

学校備品等の整備事業については、国の交付金の活用で必要な予算が確保されたこともあり、教育指導上必要な環境を提供することができ、事業的効果も大であると考えられます。

一方、学校管理事業は設備の老朽に伴い修繕の要望が多い状況にあり、優先順位をつけて対応していますが、突発的・緊急的な対応を迫られるケースも多く予算確保に苦慮している状況です。

総体的には、概ね、期待した成果は挙げられたと評価できます。

#### 【必要性】

景気の低迷が続く中、対象者が増加傾向にある就学援助事業、幼稚園就園奨励事業、遠距離通学補助、奨学金貸付事業など、保護者の負担を軽減するためには必要不可欠な事業と考えられます。また、対象児童・生徒が増加傾向にあり、学校現場から拡充を求められています。

スクールサポーターについても、実態を精査しながら支援を継続し、特別支援相談員教育の充実を期していくことが求められます。

#### 【方向性】

学校の安全確保へ向けた施設整備や学習環境の整備は、今後も引き続き事業を展開し充実させていく必要があります。

また、学校現場から配置要望の拡充を求められているスクールサポーターについて、実態を精査しながら、発達障害のある児童・生徒への支援を継続し、特別支援教育の充実を期すものです。

#### イ. その他特に点検、評価すべき事項

インフルエンザについては落ち着きが見られるものの、時期的に若干の罹患が見られるので引き続き感染予防に努めて注意していく必要があるほか、食中毒の予防対策にも学校保健衛生業務の果たす役割は大きいと考えられます。

### 指 導 課

#### ア. 施設分野別の総合点検・評価

平成23年度、指導課では計画訪問Ⅰにおいて、「つがる市の学校訪問の方針と重点」について周知徹底を図り、「各学校の学校経営の方針、教育課題解決のための具体的な方策や実践」等について確認を行った。また、新学習指導要領についても実施すべき点や職員の服務規律の確保についても周知徹底をお願いした。計画訪問Ⅱでは、

「各学校の校内研究の推進」を図るとともに、提案授業や一般授業についてもきめ細かな指導・助言を行った。計画訪問Ⅰ「各学校の教育課題解決のための実践」等の達成状況についても説明を求めた。さらに要請訪問では、20回ほどの要請回数となった。2回の計画訪問を実施したことで、それぞれのねらいに沿った指導・助言をした。次年度はさらに、「学力向上対策」について、計画訪問Ⅰで説明を求める予定である。特別支援教育関係では事業充実を図り、相談活動等の支援を強化した。つがる市漢字・計算ドリル、社会科副読本等の事業においては、学校で効果的な活用方法ができるよう活用会議等を実施した。昨年度から1名減で、各研修会の役割分担も含めて、指導課全体の仕事量も増えてきている。今後は研修会等の見直しを図っていかなければならない。

#### 【有効性】

確かな学力の育成を目指し、指導課では日常の授業の充実を図ってきた。特に、個に応じた学習過程と評価を重視し、授業の工夫の3つの視点（みせる、かかわる、つなぐ）や思考力・判断力・表現力を意識した授業改善が行われるようになってきた。また、つがる市漢字・計算ドリルの活用、学習習慣の確立を重点として取り組んできている。さらなる授業改善等を行い、学校力や教師力を強化していかなければならない。各学校では児童生徒や地域の実態を踏まえ、学校の教育課題を明確にし、教育目標具現化に努め、着実に成果を上げている学校が多い。つがる市学校評価システムや2回の学校訪問が有効に働いている。

特別支援教育・就学相談では、繰り返し相談が必要な事例も増え、「行政・医療・教育」の連携がますます必要になってきている。

標準学力検査や県の学習状況調査、全国学力・学習状況調査では、各学校とその結果を詳細に分析し、自校の実態を的確に把握し、日常の授業改善に取り組んでいる。今後も継続させ、確かな学力の育成につなげていきたい。

「心豊かな人づくり」の面では、学校や家庭、社会が一体なって規範意識を高め、道徳教育の充実を図り、社会体験や体験活動を通して生きる力を育てていくことの大切さを、学校訪問等を通して指導・助言していきたい。そのためには、家庭や地域との信頼関係を築き、地域への愛着や誇りを育んでいくことが肝要である。

#### 【必要性】

危機管理研修会、学級経営研修会、授業改善研修会、教材・教具づくり研修会、特別支援教育説明会、特別支援教育に関わる知能検査研修会、幼保小連携研修会、リーダーシップ研修会等、指導課主催のどの研修会も参加者20名以上、参加者の評価も高い。各研修会は、管内の実態や参加者の意見を参考に内容を吟味しており、その年度に必要な研修会も実施している。ただし、次年度は実態に応じて、研修会の内容等の見直しも考えていかなければならない。

つがる市漢字・計算ドリルについては、つがる市の重点的事業として、その趣旨を周知するとともに、効果的な活用事例を紹介し、各学校での積極的な活用を図った。

つがる市学校評価システムの報告書により、各校の自己評価や改善策等具体的な取り組みが把握できるので、継続が必要な事業である。なお、次年度は、各校の学校評価の様式で提出してもらう予定である。

## 【方向性】

標準学力検査については、中学校も中3をのぞき、目標準拠型学力検査（CRT）の実施する方向で指示している。年度内に学力の到達度を検査し、不十分な点を補完していくことによって、学力を保障していく体制づくり等を指導・助言していきたい。ただし、中学校から目標準拠型学力検査（CRT）から集団準拠型学力検査（NRT）への変更等の要望もあるので、検討していきたい。

学校の教育課題については、全教職員が自校の課題として受け止めていく必要がある。教員評価制度等を活用しながら、管理職がリーダーシップを発揮し、中堅教員の学校経営への参画意識と資質向上を図っていく必要がある。

### イ. その他特に点検、評価すべき事項

管内すべての教職員に配布している「学校教育要覧」は指導課の方針や重点を説明したり、諸事業の内容を提供するのに不可欠のものである。併せて指導課だより（印刷版、メール版）は指導課の方針やまとめや、最新情報を伝達する手段として効果的である。

## 3. 社会教育行政関係

### 生涯学習課

#### ア. 施策分野別の総合点検・評価書

社会教育の目指すところは、個々人の生きがいがづくり、地域住民同士の信頼関係、声をかけあうことができる安全安心な地域社会の構築である。

これをベースに平成23年度につがる市の社会教育行政の方針と重点は、昨年度同様に、重点のトップに「地域を支える人材の育成」を掲げている。これは青森県教育委員会が定めた社会教育行政の方針と重点を受けながら、管内の実情を踏まえ設定したものである。

その方針と重点に従い、課題となっている「家庭・地域の教育力の向上」のため、人々の交流、人と人とのつながりを大切にする豊で住みよい地域社会をつくり出すことができるよう、特に公民館事業の充実を図りながら、一人一人の生涯にわたる学習と社会参加を実現する社会教育の推進に努めてきたところである。

## 【有効性】

元気な地域には元気な活動家があり、それを支えている協力者がいる。

地域住民による活発で安全・安心な地域づくりには地域コミュニティの推進が必要であり、その推進役となるのは、地域におけるリーダーであり、またその仲間（協力者）であることがよく見られます。人間社会の希薄化が懸念されていることから、地域におけるリーダーの育成や仲間作りを進めることが重要である。

よって、地域の交流、仲間づくりを進めるためには、地域住民の活動拠点である地区公民館や社会教育施設の有効活用を図り、積極的に事業展開をしていくことが、大きな効果を生むものと思われる。

## 【必要性】

つがる市の社会教育行政全般にわたり、様々な課題のうち、合併によって本庁が遠くなった地域の人的交流機会の減少がある。住民の活動意識の高揚を図るためにも、

地域における公民館や社会教育事業の存在は大きいものがある。

元気な地域、確かな地域自治推進のためには、地域リーダーが必要であるが、それは地域住民一人ひとりが、生涯にわたって生きがいのある生活や、元気な地域社会を形成していく課程において醸成されていくものと言えます。

そのため、各公民館を中心とした幅広い分野にわたって参画、社会教育活動の展開と併せ、協力、役割分担をもたせながら、その人材の育成につなげる必要がある。

#### 【方向性】

社会教育は、学校教育活動を除き、主として青少年及び成人に対して行われる組織的な教育活動であると定義されているが、文化活動、レクリエーション、スポーツ、巾広い種目や年齢層に加え、十人十色の価値観と、広範囲となった行政区域から、地域住民の需要を把握していくことは、なかなか困難なところがある。

しかしながら、住民の欲する、生きがいとなる様々な地域活動を支援していくのが、社会教育行政の努めでもあることから、専門職である社会教育主事の確保・養成や資質の向上を図ると共に、様々な情報や提言の収集、発表の場を提供しながら、特に地域公民館を中心に元気な地域づくりに市民と一緒にした取り組みが求められる。

併せて、各施設の老朽化に伴う維持管理費の確保が難しくなっていることから、市民の活動拠点となる施設の整備が求められている。

#### イ. その他特に点検、評価すべき事項

平成23年度 主な社会教育施設等の改修等

- ① 市民プールフェンス・ろ過機取り換え
- ② 稲垣体育館改修
- ③ 柏ふるさと交流センター排水管改修
- ④ 屏風山の家解体による環境改善
- ⑤ 生涯学習センター空調改修
- ⑥ 生涯学習センター パソコン更新
- ⑦ 生涯学習センター&各公民館図書室の改修と図書購入
- ⑧ 森田公民館改修
- ⑨ 牛潟公民館空調改修
- ⑩ 稲垣体育館 スポーツ車&ガレージの購入

#### 4. 文化財保護行政関係

##### 文化課

#### ア. 施策分野別の総合点検・評価

平成23年度において文化課が掲げた重点施策についての点検・評価については別紙のとおりであり、全体的な総括は次のとおりである。

#### 【有効性】

期待以上・期待どおりの成果が得られたという評価がほぼ大半を占めているが、伝統芸能の保存及び後継者の育成においては、期待以下であった。

文化財に関する業務においては、史跡田小屋野貝塚の試掘調査において、道路内においても遺構・遺物が発見されるなど、期待以上の成果を得ることができた。

また、史跡等の整備、有効活用においては、史跡地の公有地化計画や史跡ガイダンス施設の計画構想を策定し、遺跡整備計画策定委員会を設置し、将来の史跡の保存管理・整備・活用の布石を打つことができた。

**【必要性】**

合併以来毎年開催されている伝統芸能保存フェスタについては、年々盛況であり必要不可欠である。

その他の事務事業についても、必要性が高く、今後も、より一層、事業内容・手法を精査しながら対応し、市の貴重な文化遺産を次世代に確実に残していくことが必要である。

**【方向性】**

重点項目の全事業において、このまま継続すべき又は拡大すべきという判断であるが、今後も、少しでも作業効率が上がるよう見直しを図りながら、積極的に推進していく必要がある。

イ. その他特に点検、評価すべき事項

史跡等の整備、有効活用について、史跡地の公有地化計画や史跡ガイダンス施設の計画構想を策定し、遺跡整備計画策定委員会を立ち上げたことは評価すべきであり、今後も積極的に取り組んでいく必要がある。

また、亀ヶ岡石器時代遺跡・田小屋野貝塚、両史跡が世界文化遺産登録に向けた普遍的価値を有することをアピールするためにも、世界遺産登録までに可能な限り、史跡地を公有地化し、ガイダンス施設整備もしていく必要がある。

## 施策別重点項目事務事業一覧

施策分野				
	重点項目	事務事業	評価担当課	
I 教育委員会組織				
(1) 教育委員会の活動	1	教育委員会会議の開催	教育総務課	
	2	教育委員会事務局との連携	教育総務課	
	3	教育委員の自己研鑽	教育総務課	
	4	教育委員の学校訪問	教育総務課	
II 学校教育指導の方針と重点				
(1) 授業の充実	5	学校管理事業	教育総務課	
	6	学校施設整備事業	教育総務課	
	7	耐震補強事業	教育総務課	
	8	学校教育振興事業	教育総務課	
	9	学校用図書備品整備事業	教育総務課	
	10	コンピューター等機器整備事業	教育総務課	
	11	スクールサポーター等による学校支援事業	教育総務課	
	12	学校評議員配置活用事業	教育総務課	
	13	就学援助費事業	教育総務課	
	14	幼稚園就園奨励費事業	教育総務課	
	15	遠距離通学費補助事業	教育総務課	
	16	奨学金貸付事業	教育総務課	
	17	学級編成及び就学事務事業	教育総務課	
	18	教育課程の編成、実施指導事務	指導課	
	19	学校訪問(計画、要請)実施事業	指導課	
	20	学力向上対策事業	指導課	
	21	漢字・計算ドリル事業	指導課	
	(2) 体育、健康教育の充実	22	学校保健及び学校環境衛生事業	教育総務課
		23	児童生徒及び教職員健康管理事業	教育総務課
		24	日本スポーツ振興センター事業	教育総務課
		25	スポーツ奨励費補助事業	教育総務課
26		学校給食運営事業	教育総務課	
(3) 生徒指導の充実	27	教育相談員派遣事業	指導課	
	28	スクールカウンセラー派遣事業	指導課	
	29	いじめ・不登校等問題対策委員会事業	指導課	
	30	つがる市生活指導協議会事業	指導課	
(4) 特別支援教育の充実	31	特別支援教育相談事業	指導課	
	32	就学指導委員会事業	指導課	
(5) 国際化に対応する教育の推進	33	ALT派遣活用事業	指導課	
	34	小学校外国語活動人材派遣事業	指導課	
(6) 研修の充実	35	特別支援教育説明会	指導課	
	36	特別支援教育研修会	指導課	
	37	特別支援教育に関わる知能検査研修会	指導課	



施策分野			
	重点項目	事務事業	評価担当課
(6) 研修の充実	38	幼・保・小連携研修会	指導課
	39	社会科副読本活用会議	指導課
	40	危機管理研修会	指導課
	41	学級経営研修会	指導課
	42	授業改善研修会	指導課
	43	教材教具づくり研修会	指導課
	44	つがる市教育研究会事業	指導課
	45	つがる市学校評価システム事業	指導課
	46	リーダーシップ研修会	指導課
	47	初任者ふるさと研修	指導課
<b>III 社会教育行政の方針と重点</b>			
(1) 地域を支える人材の育成	48	地域を支え、地域に貢献する人材の育成	生涯学習課
	49	多様な学習活動の支援	生涯学習課
(2) 一人一人の主体的な学習と社会参加の促進	50	学習成果を生かした社会参加活動の支援	生涯学習課
	51	青少年の体験活動の充実	生涯学習課
(3) 次代を担う青少年の育成	52	子どもの読書活動の充実	生涯学習課
	53	学校と地域の協働による教育活動の充実	生涯学習課
(4) 学校・家庭・地域の連携による社会全体の教育力の向上	54	家庭教育支援の充実	生涯学習課
	55	地域全体で子どもを育むための仕組みづくり	生涯学習課
	56	社会教育推進体制の充実	生涯学習課
(5) 社会教育推進のための基盤整備	57	社会教育施設の機能の充実と活用の促進	生涯学習課
	58	社会教育関係職員の養成と資質の向上	生涯学習課
	59	社会教育関係団体等の活動の支援	生涯学習課
	60	スポーツに関わる人材の育成・活用	生涯学習課
(6) 生涯スポーツの振興	61	総合型地域スポーツクラブの育成・支援	生涯学習課
	62	スポーツ施設の効果的な活用	生涯学習課
	63	遺跡の埋蔵文化財の発掘調査	文化課
(1) 文化財の保護・保存	64	史跡保存管理の周知	文化課
	65	世界遺産登録に向けての取組	文化課
	66	古木の保護管理	文化課
	67	史跡等の整備、有効活用	文化課
(2) 文化財の整備・活用	68	文化財等の情報発信	文化課
	69	伝統芸能の保存及び後継者の育成	文化課
(3) 伝統芸能の継承	70	伝統芸能保存フェスタの開催	文化課
	71	伝統芸能の映像の記録	文化課
	72	展示物の充実	文化課
(4) 資料館の充実	73	資料館についての情報発信	文化課

平成23年度 教育委員会 事務事業点検・評価表			有効性 …… 1＝未達成 2＝期待以下 3＝ほぼ達成 4＝期待どおり 5＝期待以上				
			必要性 …… 1＝低い 2＝やや低い 3＝普通 4＝やや高い 5＝高い				
			方向性 …… 1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝整理統合 4＝継続 5＝拡大				
NO	事務事業名	主管課	有効性	必要性	方向性	総合点検・評価	
1	教育委員会会議の開催	教育総務課	4	5	4	毎月1回の定例会を実施した。審議議案等も適宜追加提案を行い、緊急を要する案件にも迅速に対応した。	
2	教育委員会事務局との連携	教育総務課	4	5	4	教育委員会及び各課との情報を共有することによって、連携を密にすることができ、概ね順調であった。	
3	教育委員の自己研鑽	教育総務課	4	4	4	市町村教育委員会委員研修会、西つがる教育委員会連絡協議会研修会、西北五合同学校保健研究大会等に参加し、有意義な活動を行った。	
4	教育委員の学校訪問	教育総務課	4	4	4	園長、校長から経営方針、教頭から運営の実績を聞いて市教委が示した重点、方針に基づいた学校運営がなされていることが確認できた。	
5	学校管理事業	教育総務課	4	4	5	依然として厳しい予算で対応しているが、各学校からの修繕要望については緊急性の高いものから重点的に整備し対応した。	
6	学校施設整備事業	教育総務課	4	5	4	耐力度調査結果により危険改築事業として向陽小学校の建設に着手し、校舎及び体育館が完成。児童が安心して学習できる環境を整備した。また、車力地区小学校統合の要望等を受け、PTAと会合を持ち意見交換をした。	
7	耐震補強事業	教育総務課	4	5	5	耐震診断、耐力度調査により、基準に満たなかった小・中学校の屋内体育館等の補強工事を実施。児童、生徒が安心して学習できる環境を整備した。	
8	学校教育振興事業	教育総務課	4	4	5	厳しい予算の中、学校教育の教育環境整備のため教材備品、コンピュータの整備、就学支援の必要な児童・生徒に対し学校経費の一部助成を実施した。就学支援を必要とする児童・生徒が依然として増加傾向にあることから、事業の拡大が必要と思われる。	
9	学校用図書備品整備事業	教育総務課	3	4	4	図書整備費を各学校に配分し購入を進めているが、整備状況にばらつきが見られるため、配分割合を考慮しながら継続的に整備に努める必要がある。	
10	コンピューター等機器整備事業	教育総務課	4	5	4	平成22～25年度までの計画で再編交付金事業を活用し、児童生徒が情報化に対応した教育ができるよう小・中学校コンピュータ教室のパソコン機器等を整備する。23年度は小学校4校、中学校2校を整備し、今後も引き続き整備を実施する。	

平成23年度 教育委員会 事務事業点検・評価表			有効性 …… 1＝未達成 2＝期待以下 3＝ほぼ達成 4＝期待どおり 5＝期待以上				
			必要性 …… 1＝低い 2＝やや低い 3＝普通 4＝やや高い 5＝高い				
			方向性 …… 1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝整理統合 4＝継続 5＝拡大				
NO	事務事業名	主管課	有効性	必要性	方向性	総合点検・評価	
11	スクールサポーター等による学校支援事業	教育総務課	3	4	5	特別支援を要する児童・生徒指導の補助員として配置しているが、昨年度より2名増員となり13名体制となった。教員及び学校の負担軽減に効果が上がっているが、特別支援を要する児童・生徒は依然として増加傾向にあることから、更なる増員が必要である。	
12	学校評議員配置活用事業	教育総務課	3	4	4	学校運営に有識者の意見を取り入れ、地域と連携を強めた結果、理解と協力を得ることができ、学校教育目標達成に寄与することができた。また、開かれた学校づくりを推進していくためにも有効である。	
13	就学援助費事業	教育総務課	3	4	4	経済的理由により、就学困難な児童生徒の保護者に対して就学に要する費用を援助するものであり、現在では管内児童生徒数全体の約5分の1以上に支給している状況で、今後も必要不可欠である。	
14	幼稚園就園奨励費事業	教育総務課	4	5	4	幼稚園を利用する保護者の経済的負担を軽減するとともに、就学前にある児童の幼児教育の振興が図られる。	
15	遠距離通学費補助事業	教育総務課	4	5	4	補助を受けることにより財政負担の軽減に繋がった。	
16	奨学金貸付事業	教育総務課	3	3	4	経済的理由で金融機関から奨学資金を借入れし、市内在住の世帯に対し借入金の利子補給を行い、有為な人材育成の養成に寄与することができ、必要性の高い事業と考えられる。	
17	学級編成及び就学事務事業	教育総務課	4	5	4	学級編成基準に基づき協議の上、適切に実施されている。校区外通学では「就学校変更に係る許可基準」に基づき行う。	
18	教育課程の編成、実施指導事務	指導課	4	5	4	新学習指導要領が完全実施になり、届出書の点検指導は念入りに実施した。次年度の教育課程編成に関する留意点等を、学校訪問や指導課だよりで知らせることにより、有効性を高めることができた。	
19	学校訪問（計画、要請）実施事業	指導課	4	5	4	教育課程の編成実施において、年2回の計画訪問により、きめ細かな指導ができた。特に、「授業の充実」では、授業の工夫の3つの視点を示すとともに、校内研究の成果を他の教科の授業改善に生かすよう指導・助言に努めた。今後は要請訪問についても充実させていきたい。	
20	学力向上対策事業	指導課	4	5	4	標準学力検査及び県の学習状況調査では、各学校ともその結果を詳細に分析し、日常の授業改善に取り組みが充実してきた。今後は、思考力・判断力・表現力等の活用する力を伸ばしていくことと、学習習慣の定着や学習意欲の向上を図っていく必要がある。	

平成23年度 教育委員会 事務事業点検・評価表			有効性 …… 1＝未達成 2＝期待以下 3＝ほぼ達成 4＝期待どおり 5＝期待以上				
			必要性 …… 1＝低い 2＝やや低い 3＝普通 4＝やや高い 5＝高い				
			方向性 …… 1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝整理統合 4＝継続 5＝拡大				
NO	事務事業名	主管課	有効性	必要性	方向性	総合点検・評価	
21	漢字・計算ドリル事業	指導課	4	4	4	各校の実践発表を聞いたり、実態に応じた活用方法について協議することによって、さらに活用していこうという気運が高まった。つがる市管内の小中学校が目的を共通理解して活用し、小中連携した学習指導を進めるために、今後とも必要な事業である。	
22	学校保健及び学校環境衛生事業	教育総務課	5	5	4	学校保健・学校環境衛生を保つため、各種検査を円滑に実施し、学習環境の衛生管理に努めた。また「学校環境衛生基準」に基づいた環境衛生活動の推進により、児童生徒が健康で安全な教育環境を確保している。	
23	児童生徒及び教職員健康管理事業	教育総務課	5	5	4	学校保健安全法に基づいたものであり、児童生徒・教職員の健康診断の実施と事後措置を行うことにより、健康状態を把握し疾病等の早期発見・早期治療を勧め、健康管理と健康保持増進を図った。安全教育において重要な事業であるため引き続き事業の継続を図る。	
24	日本スポーツ振興センター事業	教育総務課	5	5	4	学校管理下で発生した児童生徒の災害について保障されることで、保護者の経済的負担を軽減することができ、全児童生徒が加入することにより安心な生活環境が守られ、学校管理下での安全体制の確保に結びついている。	
25	スポーツ奨励費補助事業	教育総務課	4	3	4	市内中学校の中体連大会等県大会以上進出校に対し経費助成を行い、保護者負担の軽減を図り、中学校スポーツ振興の一助とした。	
26	学校給食運営事業	教育総務課	5	5	4	発達段階に応じた栄養バランスのとれた安心・安全な給食の提供を受けることにより、児童生徒の健康保持、体位向上の増進を図っている。また、望ましい食習慣を養っていく上で学校給食の果たす役割は大きい。	
27	教育相談員派遣事業	指導課	4	4	4	県のスクールカウンセラーが配置されていない中学校に派遣され、生徒の生活面、学習面等、多岐にわたって相談活動を行っている。不登校生徒の家庭訪問を行うなど、必要性が高い。	
28	スクールカウンセラー派遣事業	指導課	4	4	4	いじめや不登校等、児童生徒に関わる生徒指導上の問題はますます多様化し、学校単独では解決困難な事例も多くなっている。学校をサポートしていくためにも重要な事業である。	

平成23年度 教育委員会 事務事業点検・評価表			有効性 …… 1＝未達成 2＝期待以下 3＝ほぼ達成 4＝期待どおり 5＝期待以上				
			必要性 …… 1＝低い 2＝やや低い 3＝普通 4＝やや高い 5＝高い				
			方向性 …… 1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝整理統合 4＝継続 5＝拡大				
NO	事務事業名	主管課	有効性	必要性	方向性	総合点検・評価	
29	いじめ・不登校等問題対策委員会事業	指導課	4	4	4	児童生徒のいじめ、不登校等の問題解決のため、対策委員会での情報交換および学校や関係諸機関のネットワークをつくり、現状についての協議や緊急時における対応策の検討の場として必要である。	
30	つがる市生活指導協議会事業	指導課	4	4	4	つがる市管内における児童生徒の健全育成のために、各種団体が協力し事業を行っている。特に問題行動の未然防止のための情報交換等で成果をあげている。今後は、携帯電話等による犯罪に巻き込まれない対策を協議するなど新しい課題に積極的に取り組む必要がある	
31	特別支援教育相談事業	指導課	4	5	4	幼稚園・保育園を訪問しての就学相談活動は、特別支援教育に関する保護者の理解と悩みの相談の面で成果をあげている。今年度からは個別の教育支援計画の作成を通して教員の指導・助言も行っている。	
32	就学指導委員会事業	指導課	4	5	4	特別な支援を必要としている幼児・児童・生徒は増加傾向にある。そのため、教育・行政・医療関係が連携して、適正な就学指導を行っていくことは大事な業務である。	
33	A L T派遣活用事業	指導課	4	5	4	児童生徒に生きた英語に接する機会を提供し、英語に対する興味・関心を深め、コミュニケーション能力を高めていくためにも欠かせない事業である。	
34	小学校外国語活動人材派遣事業	指導課	4	5	4	小学校の外国語活動が導入される移行期である。児童生徒への英語への興味・関心を深め、国際理解教育を推進し、A L Tが派遣できない日にネイティブ・スピーカーの代わりに務めたり、学級担任の指導計画や教材づくりをサポートするなど、必要性は高い事業である。	
35	特別支援教育説明会	指導課	4	4	4	特別支援教育に対する考え方や就学指導の流れについて周知するとともに、発達障害のネットワークや健康推進課や障害福祉課の取り組みの理解を通して、幼稚園・保育所職員及び小・中学校教員の力量を高めることに繋がった。	
36	特別支援教育研修会	指導課	4	4	4	発達障害や特別支援教育に関する知識、指導方法に関する見識を深め、資質向上を図るためには必要な研修会である。	
37	特別支援教育に関わる知能検査研修会	指導課	4	4	4	就学指導委員会の専門検査で実施する知能検査について、実践を通して研修を深めることができた。また専門部委員だけでなく、幼稚園・保育所職員の参加もみられ、特別支援教育の推進のためには、今後も必要な事業である。	

平成23年度 教育委員会 事務事業点検・評価表			有効性 …… 1＝未達成 2＝期待以下 3＝ほぼ達成 4＝期待どおり 5＝期待以上				
			必要性 …… 1＝低い 2＝やや低い 3＝普通 4＝やや高い 5＝高い				
			方向性 …… 1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝整理統合 4＝継続 5＝拡大				
NO	事務事業名	主管課	有効性	必要性	方向性	総合点検・評価	
38	幼・保・小連携研修会	指導課	4	4	1	3年間計画で幼稚園教育と小学校教育の円滑な接続のために、幼稚園・保育所職員と小学校教員が情報交換したり、一緒に研修することができた。今後は各小学校と幼稚園・保育所で連携を強化していく。	
39	社会科副読本活用会議	指導課	4	4	3	社会科副読本「わたしたちのつがる市」の実践事例について情報交換するとともに、各校での一層の活用を図るために必要である。次年度は「わたしたちのつがる市」の改訂作業に取り組む予定である。	
40	危機管理研修会	指導課	4	4	4	ネットいじめや不審者への対応についての講習等、児童生徒が安心して学校生活を送れるよう予防や適切な対応について理解を深めていく講習会である。次年度はさらに幅広い意味での、今日的課題に対応していけるよう、危機管理研修会と名称を変更する予定である。	
41	学級経営研修会	指導課	4	4	4	よりよい学級づくりのため、Q-U検査結果の分析と活用、学級集団に応じた授業の構成と展開の仕方についての研修会を行っている。研修のために10人以上参加している学校もあり、教職員としての力量と資質の向上が図られ、授業実践に役立った。	
42	授業改善研修会	指導課	4	4	4	学力向上のため外部講師を招き、今年度は英語・外国語の模擬授業を通して授業づくりの視点を学び、教職員の指導力の向上を図った。日頃感じている疑問等にも対応し、授業改善につながっている。	
43	教材教具づくり研修会	指導課	4	4	3	エネルギー・環境教育研修会に代わる研修会として、広く理数教育の充実という考えで研修会を実施。生徒に実際に体験させることによって興味関心を引き出すための教材や教具の開発等を行う。次年度からは授業改善研修会で、教材教具づくり等含んだ研修会を行う。	
44	つがる市教育研究会事業	指導課	4	4	4	市内教職員が会員となって、5中学校での学区研や教育講演会を開くなど、学習指導や生徒指導等、教職員の専門性と資質向上のために役だった。今後も継続が必要な事業である。	
45	つがる市学校評価システム事業	指導課	4	4	4	管内の各学校が自校の教育活動や学校運営について、組織的・継続的な改善及び信頼される開かれた学校づくりに資するとともに、教育委員会が学校に必要な支援を講ずるためにも必要な事業である。次年度からは様式を各学校の様式に変更する予定である。	

平成23年度 教育委員会 事務事業点検・評価表			有効性 …… 1＝未達成 2＝期待以下 3＝ほぼ達成 4＝期待どおり 5＝期待以上				
			必要性 …… 1＝低い 2＝やや低い 3＝普通 4＝やや高い 5＝高い				
			方向性 …… 1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝整理統合 4＝継続 5＝拡大				
NO	事務事業名	主管課	有効性	必要性	方向性	総合点検・評価	
46	リーダーシップ研修会	指導課	4	4	3	学校運営の在り方についての研修を通して、学校経営の参画意識と資質向上を図るために設けた研修会である。各校のミドルリーダー育成の観点からも、名称等を変更して校内研修充実のための支援事業に移行していく予定である。	
47	初任者ふるさと研修	指導課	4	5	4	初任者研修の一貫として行われる「ふるさとの教育研修」として、つがる市の教育と地域について理解を深め、教員としての資質向上を図る研修会である。	
48	地域を支え、地域に貢献する人材の育成	生涯学習課	3	5	5	元気な地域づくりには、地域におけるリーダーが必要であり、それを支える協力者が必要であることから、各種事業実施にあって、常にその人材の発掘と取組み・育成に心がけ取り組んでいる。 特に公民館事業については、昨年に引き続き、拠点館として地域への事業実施がなされる等、徐々に公民館の存在が高まりつつある。 今後も仕掛け人、黒子役として、社会教育担当者の自己研鑽はじめ、各種団体の活動を拠点公民館として支えていきたい。そのためにも社会教育主事はじめ、専門職員の継続配置が望まれる。	
49	多様な学習活動の支援	生涯学習課	4	4	4	任意団体の活動に公民館の存在は欠かせないが、活動を奨励していくうえで施設使用料が課題となるが、社会教育団体の認定申請・承認を受けることで課題解消が図られている。併せて、社会教育団体の把握と支援に貢献できている。 平成23年度認定団体数は文系56団体、約2,016名、スポーツ系48団体、約2,960名となっており、会員数においては、前年度比2,190名の増となっている。 幅広い種目や年齢層に加え、多種多様な価値観や広範な行政区域にあるが、「松の館・稲垣公民館・森田公民館」を拠点として、公民館事業の充実を図っている。	
50	学習成果を生かした社会参加活動の支援	生涯学習課	3	3	4	平成21年度に、松の館内に展示ギャラリーを設置。23年度は7件の利用があり、市民の活動発表の場として活用され、その活用頻度は徐々に多くなっているが、一般市民はじめ幼稚園・保育園・小中学校・高校の活動展示等、更なる拡充に努める。 市文化団体協議会主催による活動の発表等、今後も、市民の生涯にわたる生きがいにつながる活動可能な分野として、各文化団体の活動支援や公民館活動を通して市民による文化・芸術活動を支援していく。	

平成23年度 教育委員会 事務事業点検・評価表			有効性 …… 1＝未達成 2＝期待以下 3＝ほぼ達成 4＝期待どおり 5＝期待以上				
			必要性 …… 1＝低い 2＝やや低い 3＝普通 4＝やや高い 5＝高い				
			方向性 …… 1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝整理統合 4＝継続 5＝拡大				
NO	事務事業名	主管課	有効性	必要性	方向性	総合点検・評価	
51	青少年の体験活動の充実	生涯学習課	3	4	4	子どもたちの安全・安心な環境づくりや地域の大人が見守る体制づくりが求められている。そのため、県補助を受け、児童クラブ、こども教室運営関係者による「放課後こどもプラン運営委員会」を開催し、事業運営の課題解消に取り組んできた。 また、自己を顧み、協調性や自主性を育むため、学校以外での団体活動や様々な自然体験主体に取り組んできたが、初体験の参加者が多く、今後も社会性や自立心を養い、地域ぐるみで子どもを見守る環境づくりや事業推進に継続して取り組みたい。	
52	子どもの読書活動の充実	生涯学習課	3	5	5	子どもや親に読書への関心を高めるため、つがる市読書まつり（読み聞かせ、昔話、手作り絵本、缶バッジ、ブックマーケット等）を開催し、併せて読書団体・読み聞かせサークルへの活動支援に努めた。 読書は豊かな感性と考える力を育み、人生をより深く生きていくために欠かせないもので、平成23年度、国の補助を受け、松の館・各公民館の児童図書等の整備・充実が図られた。 今後も、他関係団体と連携を図りながら市民の読書活動への奨励を図っていく。	
53	学校と地域の協働による教育活動の充実	生涯学習課	3	3	4	家庭教育は全ての教育の始まりである。心身ともに健全な子どもの育成を図るためPTAとの連携が大事なことから、PTA活動の支援をはじめ、共催による学習会を開催した。 今後も家庭教育への関心を高め、理解を深め、協働事業の開拓と実施をしていく。	
54	家庭教育支援の充実	生涯学習課	3	4	4	家庭教育はそれぞれの家庭において行われるものですが、少子化の問題もあり、地域における人々のつながりが希薄になっているといわれる現在、安心して子育てができるような環境や支援が必要とされています。このことから、身近な地域において、子育て中の親同士が相互に学びあう学習機会を提供し、子育て生活のリフレッシュや子育て不安の解消、親同士のネットワーク作りに繋がった。	
55	地域全体で子どもを育むための仕組みづくり	生涯学習課	3	4	4	地域全体で子どもを育むことができるよう、教育委員会では「子ども教室」、福祉関係では「児童クラブ」を、市内全小学校区に設置されている。「放課後子どもプラン運営委員会」を開催しながら、地域住民の参画を得、子ども達にとって安全安心な居場所を提供していく。	



平成23年度 教育委員会 事務事業点検・評価表			有効性 …… 1＝未達成 2＝期待以下 3＝ほぼ達成 4＝期待どおり 5＝期待以上				
			必要性 …… 1＝低い 2＝やや低い 3＝普通 4＝やや高い 5＝高い				
			方向性 …… 1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝整理統合 4＝継続 5＝拡大				
NO	事務事業名	主管課	有効性	必要性	方向性	総合点検・評価	
56	社会教育推進体制の充実	生涯学習課	3	5	4	平成19年度地区公民館の拠点館化、平成20年度各公民館の独自事業予算を確保、平成21年度拠点公民館の社会教育有資格者職員へ社会教育主事任命、平成22・23年度各公民館事業メニューの多様化と拡充に努めてきた。今後も地域に根ざす拠点公民館としての充実を図っていく。また、地域団体の活動を支えていくためにも専門職員の継続確保と地域活動家の発掘と育成に取り組んでいく。	
57	社会教育施設の機能の充実と活用の促進	生涯学習課	4	4	5	体育施設、社会教育施設ともに老朽化しているが利用頻度は高い。地域活性化事業等により、社会教育・体育施設の改修・解体がなされ、施設の快適性が向上した。今後、スポーツの拠点となる体育施設や市民の自主的な活動促進につながる交流施設の整備と併せ、施設機能充実のため専門職等の配置が望まれる。	
58	社会教育関係職員の養成と資質の向上	生涯学習課	3	5	5	社会教育の振興を図るため、専門職員の配置と資質向上が望まれる。西北教育事務所と西北五地区社会教育担当者が共催で研修会を開催し、積極的に参加しているが、現在、社会教育主事有資格者の高齢化が進んでいることから、今後、計画的に社会教育主事の養成が望まれる。	
59	社会教育関係団体等の活動の支援	生涯学習課	3	3	4	社会教育団体の申請・認定を受けることで、社会教育施設の減免がなされ、活動を奨励している。文化・スポーツ等、幅広い種目や年齢層に加え、多種多様な価値観や広範囲となった行政区域から、「松の館・稲垣公民館・森田公民館」を拠点として、各種団体の活動を支援している。	
60	スポーツに関わる人材の育成・活用	生涯学習課	5	5	5	生涯スポーツの振興(軽スポーツ・競技スポーツ)を図るための体制づくりの一つとして、体育協会が平成20年11月にNPO法人として設立したが、競技力向上のため、専門職員(指導者)の確保が求められる。毎年市民スポーツ大会の開催においては各種競技団体との連携をとり、また県補助を受けて学校への指導者派遣への活用に取り組んできた。各団体において、競技力の向上や活発な活動が図られるよう、体育協会との連携を強化していく。体育協会(加盟団体17)スポーツ少年団。県大会以上の大会出場にかかる参加者負担の軽減を図っている。	

平成23年度 教育委員会 事務事業点検・評価表			有効性 …… 1＝未達成 2＝期待以下 3＝ほぼ達成 4＝期待どおり 5＝期待以上				
			必要性 …… 1＝低い 2＝やや低い 3＝普通 4＝やや高い 5＝高い				
			方向性 …… 1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝整理統合 4＝継続 5＝拡大				
NO	事務事業名	主管課	有効性	必要性	方向性	総合点検・評価	
61	総合型地域スポーツクラブの育成・支援	生涯学習課	5	5	5	総合型地域スポーツクラブとして、稲垣公民館の支援のもと、いなぎスポーツクラブが自主活動している。 また、TOTOスポーツ振興くじ助成事業を受け、車力楽笑スポーツクラブ（H22.3車力地区）が設立された。 今後の活動の拡充、他地区への普及効果を図るため、その活動を支えていく。	
62	スポーツ施設の効果的な活用	生涯学習課	3	3	4	生涯スポーツ振興（軽スポーツと競技スポーツ）を図るための体制づくりの一つとして、体育協会を平成20年11月NPO法人設立し、スポーツ振興事業として補助事業を積極的に取り入れる等、施設の活用にも取り組んでいる。 また、スポーツの拠点施設である稲垣体育館に体育協会を指定管理者としているが、体育施設の効果的な活用を図るため、今後も随時指定管理者を導入していく。	
63	遺跡の埋蔵文化財の発掘調査	文化課	5	5	5	発掘調査や調査報告書作成を計画どおり完了した。特に田小屋野貝塚道路内における試掘調査で遺跡の遺存状況を確認し、上下水道敷設計画に適切な回答をできるデータが得られた。調査結果は、文化庁、県教育委員会の高い評価を得ている。また、調査結果を各種講演会や世界遺産関連会議にて発表し、情報公開も図れた。	
64	史跡保存管理の周知	文化課	5	5	4	田小屋野貝塚道路内試掘調査等により、史跡隣接地における試掘調査や史跡保存管理の必要性を周知できた。	
65	世界遺産登録に向けての取組	文化課	5	5	4	世界遺産専門家委員会において亀ヶ岡遺跡・田小屋野貝塚の専門的説明を行い、また専門家委員会委員長・委員に現地説明して、両史跡が世界文化遺産登録に向けた普遍的価値を有することをアピールできた。またNPOに委託して市民向け講演会・現地見学・体験学習などを実施して、世界文化遺産登録推進活動に供し、多くの参加者・理解者を得ることができた。	
66	古木の保護管理	文化課	3	5	4	年間を通じた業務委託により保護管理に努めていると同時に、適時現地確認を行い現状把握に努めている。	

平成23年度 教育委員会 事務事業点検・評価表			有効性 …… 1＝未達成 2＝期待以下 3＝ほぼ達成 4＝期待どおり 5＝期待以上				
			必要性 …… 1＝低い 2＝やや低い 3＝普通 4＝やや高い 5＝高い				
			方向性 …… 1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝整理統合 4＝継続 5＝拡大				
NO	事務事業名	主管課	有効性	必要性	方向性	総合点検・評価	
67	史跡等の整備、有効活用	文化課	5	5	5	史跡田小屋野貝塚側の県道沿いに出土地点情報や写真などを添付した説明板を設置し、各種来訪者の説明・見学に供した。また、史跡地の公有化計画や史跡ガイダンス施設の計画構想を策定し、将来の史跡の保存管理、整備、有効活用に供するための布石を打った。	
68	文化財等の情報発信	文化課	5	5	4	各種説明会・講演会、県の「奥津軽の歴史探訪」推進事業などへの積極的な協力により、史跡や世界遺産を中心とした情報発信に大きな効果があった。	
69	伝統芸能の保存及び後継者の育成	文化課	2	5	4	後継者育成の取り組みが今後も課題となっていくことから、学校訪問事業等を継続し育成推進を図る必要がある。	
70	伝統芸能保存フェスタの開催	文化課	4	5	4	伝統芸能保存協会主催のフェスタを継続して開催し、約400名の観客が参観した。フェスタの開催は、今後の継続的な伝統芸能の保存・継承活動及び地域社会の文化の向上に帰するものである。	
71	伝統芸能の映像の記録	文化課	4	5	4	各地域の失われつつあり、かつ、記録に残されていない伝統芸能を映像に記録・保存することで、永く後代の遺産となるものである。	
72	展示物の充実	文化課	5	5	4	カルコや木造亀ヶ岡考古資料館に県立郷土館から借用した新たな資料を展示し、展示の充実に努めた。また、事前連絡があった場合には、担当学芸員が展示物の解説を行い、展示物の説明、意味づけの充実に努めた。	
73	資料館についての情報発信	文化課	5	5	4	資料館パンフレット・つがる市ホームページへの掲載の更新を行うとともに、県の「奥津軽の歴史探訪」推進事業による奥津軽歴史探訪の冊子に掲載することにより、情報発信に努めた。また、担当学芸員による展示物解説により、詳細な情報発信に大きな効果があった。	